

鶴岡ロータリークラブ会報

835

1975-12-23 No.26

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30 ~ 1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235(22)5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 敷

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (手に手をつないで)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

- 去る12月19日 西クラブの忘年会 会長、幹事、小花君出席。
和らかな会合でした。
- G.S.E試験結果について。
本RC推せんの進藤昇君(ローターアクト会長)合格。

◆ 幹事報告

酒田東RC	12月25日(木)	17.30~	年忘れ家族会	大沼百貨店	登録料 3,000円
酒田東RC	1月8日(木)	18.00~	新年会	相馬屋	登録料 6,000円
酒田RC	1月7日(水)		新年会	相馬屋	登録料 6,000円
村上RC	1月8日(木)	16.30~	新年家族会	吉源	
能代RC	1月9日(金)	17.30~	新年家族例会	プラザ都	
山形南RC	12月27日(土)	18.00~	例会	山交ビル7F	

認証状伝達式 昭和51年4月11日 15.30~ 西日井RC 名古屋観光ホテル
国際ロータリー第352地区年次大会 1976年4月24日(土) 25日(日) 岩手県民会館で
その他(会報到着)

◆ 会員スピーチ 張 紹淵君(後述)

◆ 委員会報告(後述)

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

“1975年の国際外科学会に招かれて”

張 紹 淵 君

米国の国際外科学会と医師会の共催の学会に招聘されて、12月5日から9日まで、5日間、ハワイのシャラトン・ワイキキホテルに滞在した。この国際外科学会で口演したことは、これで、5回目でした。おそらく、今度が最後かも知れませんが、第一回目は、今より20年前（昭和30年5月に、16ミリカラーフィルムによる、“胃切除術式の改善”について、口演内容の別刷を携えて、会場でくぱり、米国のフィラデルフィアのペンシワニア大学の会議場でしたのでした。それが、私の最初の国際外科学会の口演でした。

家内を連れて、その当時、開業医であって、教授並に、口演することが出来たのも、日本では、私が初めてであり、それだけに、人気、好評があったように思われ、私達の喜びは、最高でありました。それも、師公、塩田広重先生のおかげ様と共に、口演前に、中山恒明教授が私の口演フィルムを点検、カットして下さって、“日本国を代表してやるのだから〜と云われて”よりよき御指導を得られた、賜ものであったと、今更に、感謝に絶えない先生方でした。その感激があって、この度、立派に塩田張式胃切除術が完成して、発表が出来たと思われる。

中間の発表をたどりますと、第1回目がフィラデルフィア、第2回目がローマ、第3回目がウイン、第4回目が日本の東京とある。かれこれ完成するのに、28年もかかりました。この塩田張式胃切除術は、幸いにして、又、来年ミュンヘンで開催される、(1976年4月28日から5月1日)西独乙の外科学会に認められて、下手な独乙語で口演しなければならんことになりました。考えてみれば、これも、云わば、ロータリーの自分の職業奉仕が実のつたようにも思われる。

この度の学会中は、家を1週間許りも、留守しましたが、会員の家族の皆様によしみて、安心して、口演をやって来られましたことを感謝しています。国際電話のおかげで、外国に居っても、お隣りに居りますように、毎日、診療のことなり、家の様子がわかり、指図も出来たので、世界は、小さくなったような感じがしました。このように、私には国際外科学会の楽しみがあると同時に、もう一つの楽しみがありました。それは、国際ロータリーの、外国のロータリークラブの例会に出席することが、家内と共に、1つの大きな、楽しみでありました。外国のロータリークラブ例会に出席します度毎に、自分達は、本当に、国際ロータリーの一大家族の一員であるかのように思わせられました。それは、外国のロータリークラブの会員の皆様が私達を同じ家族の親しみで、心から歓迎して下さいたところがあったからであります。そんなわけですから、学会中も、外国の例会に出席して、楽しんで来ました私でした。この度も、パール・ハーバロータリークラブの例会に、学会中を抜けて、出席して楽しみ、大いに歓迎されました。そして、私には、何時もロータリー例会の取獲は、学会中の取獲よりも、学ぶことが多かったので、進んで、外国の例会に出席して楽しんで来たわけでした。

次に、そこに住んで居られる、日本人達は、どうしているだろうかを知る機会を与えられて下さいました。それは、幸いにして、山形県人会会長、松浦玉英さんと、唯一の、クワキニ・メデイカルセンター創立75周年になった、日本人病院の理事、元院長先生であった後藤健治先生に、むかえられて、種々とその人達の日常医療のことや、老人福祉、日常生活の様子などを教えてもらいました。知り得ることは、ハワイに住む日本人達は、日本国に住む人達よりも幸福であることを悟りました。

台中港区RC表敬訪問について

小池委員長

旅 程 期間昭和51年2月15日～2月19日(4泊5日)
 募集会員 申込みは今年中
 費用概算 ¥135,000
 申込金 ¥20,000

◎上記費用には次のものが含まれております。

- 航空機
- 一級ホテルのバス付(一人部屋)及び食事代
- ガイド、入場料、団体行動のチップ、空港税

◎会費に含まれないもの

- 渡航手続費用(旅券、ビザ、注射、代行手数料)
- 個人的費用(クリーニング、電話、20kgを超える手荷物料、飲食代)
- 鶴岡—東京(羽田間の交通費)

日 程 表

日次	月 日	都市名	交通機関	時刻	日 程
1	2月15日 (日)	東京発 台北着	N W 21	09:00 12:10	午前 ノースウェストのジャンボ機にて台北へ 着後ホテルチェックインを済ませ市内観光 (総統府、孔子廟、龍山寺) 夕食はフーバーレストランにてショーをみながら (台北泊)
2	2月16日 (月)	台北発 台中着	列 車		午前 列車にて台中へ (台中泊)
3	2月17日 (火)	台中発 台北着	列 車		午後 列車にて台北へ (台北泊)
4	2月18日 (水)				(台北泊)
5	2月19日 (木)	台北発 東京着	N W 10	12:50 16:45	午前 自由行動 午後 ノースウェストのジャンボ機にて東京へ

※上記日程内容は暫定的なもので、今後変更されることも考えられますのであらかじめご了承下さい。

職業奉仕事例集について

三井 健君

“早坂源四郎君のあいさつ”について説明

事例集発行の目的は、ただ各位の体験記録を収集するだけではありません。文を通して各位の職業奉仕観、素朴な奉仕観、真摯な奉仕観、更には近代的経営観をも窺える事が出来ました。共通している事はロータリーへの深い熱情です。各種各様な環境の下で、わが第353地区ロータリアンの、多彩な、真実の姿と心が書き出されて居ります。地区の全会員3,200余名に比して、投稿数は極めて少数ですが、全会員の志行の一端を示すと云えましょう。

本冊子発行の目的は、これを印刷配布するだけでは達せられません。これを如何に有効に利用するかであります。予算の関係で全員配布出来ませんでした。何卒各クラブの職業奉仕委員会が中心となられ、本事例から適切なものを摘出され例会に於て、クラブフォーラムで、更には地区職業奉仕週間に於て全会員にご発表願ひまた討議され十分に活用されます事をお願い致します。

ロータリーは実践哲学であり、行動する事を強く求められて居ります。職業奉仕に於て正にその感を深くします。然しながら、職業奉仕の理念の探求もまた肝要かと思ひます。これを契機として、クラブ全会員が職業奉仕に関する内外の文献著書を繙かれ、その理念の高揚と共に実践の促進に一層精進されます様期待して居ります。

職業奉仕の道こそ、日頃私共の歩みつつある道であり、更に果しなく続く遠い道であると思ひます。そしてロータリーの善さは私共自身が築き上げる可きの感を深くする次第です。

出 席 報 告

本日の出席	会 員 数 71名 出 席 数 55名 出 席 率 77.46%	欠席者	板垣君、玉城君、風間君、三浦君、齋藤(栄)君 齋藤(信)君、佐藤(昇)君、新穂君、佐藤(友)君 鷺田(幸)君、進藤君、菅君、高橋(正)君、高橋 (良)君、上野君、吉野君
前回の出席	前回出席率 80.28% 修正出席数 67名 確定出席率 94.37%	メーク アップ	風間君一東京南RC 阿部(公)君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、 玉城君、嶺岸君、森田君、佐藤(友)君、菅原 (啓)君、手塚君一鶴岡西RC
ピジター	滝禅源君一立川RC 原田行雄君、加藤広君、白崎伸二君、土井秀夫君一鶴岡西RC		